

〔A類社会コース, A類現代教育実践コース環境教育プログラム, B類社会コース 対象〕

歴史総合・日本史探究 解答例

令和8年度
一般選抜前期

I

問1 〔回答のポイント〕 「伝統文化」を「時代の価値観」と関係づけるにあたって、多様な価値観があり得るという視点に即して、「民衆が国家権力と対立する」事例が具体的に述べられていたらよい（単に「対立」の例をあげるのではなく、「伝統文化」との関係を示すことが望ましい）。例えば、日本史であれば自由民権運動や大正デモクラシーといった文脈で、祭礼や大衆演劇・民衆宗教などが体現する伝統行事が天皇制から逸脱したり天皇制批判になっていたりする例。あるいは、大衆音楽で好まれる歌詞の内容が軍国主義者から批判される例。「新女性」の主張が当該期に支配的な「家族」観と異なっている例など。戦後の「平和主義」をめぐる国家と民衆の対立なども一例である。外国史であれば、例えばフランス革命における王党派とジャコバン派の関係や、女性の権利宣言といった動向などに注目して論述することが考えられる。

問2 〔回答例〕 伝統文化は、国家がナショナリズムを喚起する意図で強調されることが多いと思う。近代になって国民国家が当然の単位とされるなか、それぞれの国家は対内的な団結や対外的な国威発揚のために伝統文化をアピールし、ときには排外主義や外国人排斥へと傾斜する。問1で見たような国家権力と民衆の対立が抑圧されたり、ケンジさんが言っているように、ジェンダー・バイアスに満ちた「家族」が正当化されたりするのもそれと無関係ではないだろう。グローバル化や情報化が進展すれば、むしろ国家の存在感を誇示するために、そうした閉鎖的な要素が強まることもある。また、観光資源として活用することで経済的な利益につなげようとする意図も働くだろう。

万博に限らず、さまざまな国際的セレモニーで、開催国の文化が固有のものとして強調されたり、「多文化共生」や「地元愛」・「郷土愛」を喧伝するさいにも、ステレオタイプな「文化」が強調される傾向にあるのはそのためだろう。

〔A類社会コース，A類現代教育実践コース環境教育プログラム，B類社会コース 対象〕

歴史総合・日本史探究 解答例

令和8年度

一般選抜前期

Ⅱ 解答例

問1

- (1) イ
- (2) ア
- (3) ア

問2

- あ 女の文字とされたかな文字
- い 紫式部（他、清少納言など）
- う 源氏物語（他、枕草子など）
- え 女性、特に宮中の女房によるかな文字を使った

問3

イ

問4

イ

問5

女房装束（十二単）

問6

- お 杖を持っている
- か 自らの力で長距離を歩いた
- き 笠をかぶっている
- く 顔を隠す

問7

ルイス・フロイスはポルトガル出身で、イエズス会の宣教師として、キリスト教を布教するために日本に滞在していた。彼による16世紀後半の日本についての詳細な記録は、布教のために日本の生活習慣や文化を観察した成果である。それはイエズス会に報告するためのものであったが、当時の日本社会を知る貴重な歴史資料ともなっている。

問8

- け 家や男性の支配を受けていた
- こ 男尊女卑の

〔A類社会コース，A類現代教育実践コース環境教育プログラム，B類社会コース 対象〕

歴史総合・日本史探究 解答例

令和8年度

一般選抜前期

解答例

Ⅲ

問1 徳川慶喜

問2 参勤交代

問3 ウ

問4 ウ

問5 政策名：公武合体政策

内容：

孝明天皇の妹・和宮を大第14代将軍徳川家茂の妻に迎える政略結婚によって幕府と朝廷との融和を図ろうとするものである。

〈別解〉

朝廷や幕府と強いパイプを持つ薩摩藩の島津久光が、孝明天皇の勅を奉じて、幕府に対して政治改革を要求するなどした。

問6 国学

問7 大政奉還

問8 (1)アメリカ東インド艦隊司令長官ペリーが最初に浦賀にやってきて、フィルモア大統領の国書を日本に受け取らせ、翌年に回答を要求して一時的に浦賀を去った様子。

(2) 巨大な軍艦で浦賀沖にやってきた異国(アメリカ)の、上陸や侵略という事態を想像していたが、短期間で(国書を受け取るだけで)撤退していったことで、日本は武威の優れた国であり、異国の脅威など及ばないのだという、当時はまだ楽観的な感覚を持っていたと思われる。

〈別解〉巨大な軍艦を率いてやってきたアメリカを、短い期間で追い返したというが、その実、軍艦に対して旧時代的な武具でもって勝ったと見込んで、自国の優越感に浸っている人々を批判的に捉えている様子。

〔A類社会コース，A類現代教育実践コース環境教育プログラム，B類社会コース 対象〕

歴史総合・日本史探究 解答例

令和8年度
一般選抜前期

IV

問1 (1) ア:d (2) イ:e ウ:f (3) エ:朝鮮人虐殺

問2 オ カ 文明開化 殖産興業 (順不同) キ 徴兵 ク 民主(主義)

問3 〔回答のポイント〕 例えば以下①～④のような諸点について、ただ列挙するのではなく論述することが望ましい。

- ①第一次世界大戦後の不況から脱却できないまま震災による甚大な損害を被った日本経済は、震災手形に関わる金融恐慌や昭和恐慌など経済不況が続き民衆の生活を圧迫した。
- ②震災後の復興過程で都市計画の整備や中央集権化、通信網や交通網、建築の近代化などが促進された。
- ③朝鮮人虐殺に見られる民衆の不可測な動向や、官憲による社会主義者の弾圧、それに対する虎ノ門事件など、社会不安も広がった。
- ④本文にあるように、近代化への過信が減退した分、「伝統文化」を称揚する傾向が戦時期の精神的な支柱を準備した。また、「自警団」といったボランティア組織の経験が戦争動員への地ならしにもなった。

問4 〔回答例〕 戦争が長期化し、国家総動員法が制定されたり国民精神総動員運動などが展開されたりするなか、汪兆銘工作や東亜新秩序声明などが国民党政府との和解の道を遠ざけ戦争は長期化した。やがて、ヨーロッパで始まった第二次世界大戦と連動して、日本はドイツ・イタリアと同盟関係を結び、英仏やソ連・アメリカとの対立関係を深めていった。日米交渉が決裂するなか日米開戦を迎え、戦争は中国戦線とともに戦火はアジア・太平洋地域全体に拡大していった。

問5 〔回答のポイント〕 以下の点などから多角的に考察されていたらよい。時局の段階的なちがい、欧米との対立関係の進展、言論弾圧の度合い、時局への向き合い方や立ち位置、戦争に反対するか賛成するか、進歩主義と保守主義のちがい、ヨーロッパに対する感情や姿勢のちがい、アジアについての意味づけ方のちがい、など。